



## 小平町交通安全住民大会

ストップ・ザ・交通事故  
くめさせ 安全で安心な北海道

交通安全



交通安全



演題 交通安全について

旭川方面留萌警察署  
交通課長 齊藤 勝氏



交通安全住民大会



幼児センターくるんぱ

### —— 主な内容 ——

- 赤十字活動資金・・・・・・・・・・ 2
- 平成28年度事業概要・・・・・・・・ 3～4
- 平成28年度一般会計予算・・・・・ 5～9
- 伝言板・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## 赤十字活動資金

日本赤十字社小平町分区では6月1日より赤十字活動資金（社費）の募集を開始しています。

### 「世界の子供たちのこえなきSOS

・・・幼い生命に愛の手を」

今、この地球上から尊い生命が次々に失われています。  
肌の色、国、そして主義主張は異なっても、  
かけがえのないのは、《いのち》です。  
そして、国内外での災害の被災者に対しても  
・・・あなたの、やさしさ、愛の手を・・・



皆様の暖かいご協力をお願いします。



赤十字活動資金・・・赤十字活動に賛同していただいた社員（会員）の方々から毎年500円以上の社費とそれ以外の皆さまから寄せられた寄付金です。

6月15日現在20町内会756戸1団体428,000円のご協力を頂いております、町内住民の皆様の温かいご理解に深く感謝申し上げます。

#### 《赤十字社員について》

日本赤十字社は、国内はもとより全世界の平和と福祉増進の為、人道と博愛を旗印として、各種の事業活動をたゆみなく続けています。これらの事業資金は、政府の補助金によるものではなく、社員が納入する社費と一般の寄付金（これを総称して社資と呼びます）がその財源となります。

日本赤十字社は特殊法人で日本赤十字社法第4条に「社員をもって組織する」と定められています。

「社員」とは、日本赤十字社を組織する構成員のことを言います。社員には、個人社員と法人社員とがあり、社員が納める「社費」と広く個人や法人あるいは団体などから寄せられる「寄付金」によって赤十字は運営されています。

社員になりますと毎年一定の社費（年額500円以上）を収めていただくことになっています。また、社費額の変更や社員を脱退することはもちろん自由です。

# 平成28年度 社協事業の概要

## 【基本方針】

「持ち寄り、わかちあい、つくりあげる、小平の福祉」

～住みなれたこの町で、24時間、365日安心できる生活を目指して～

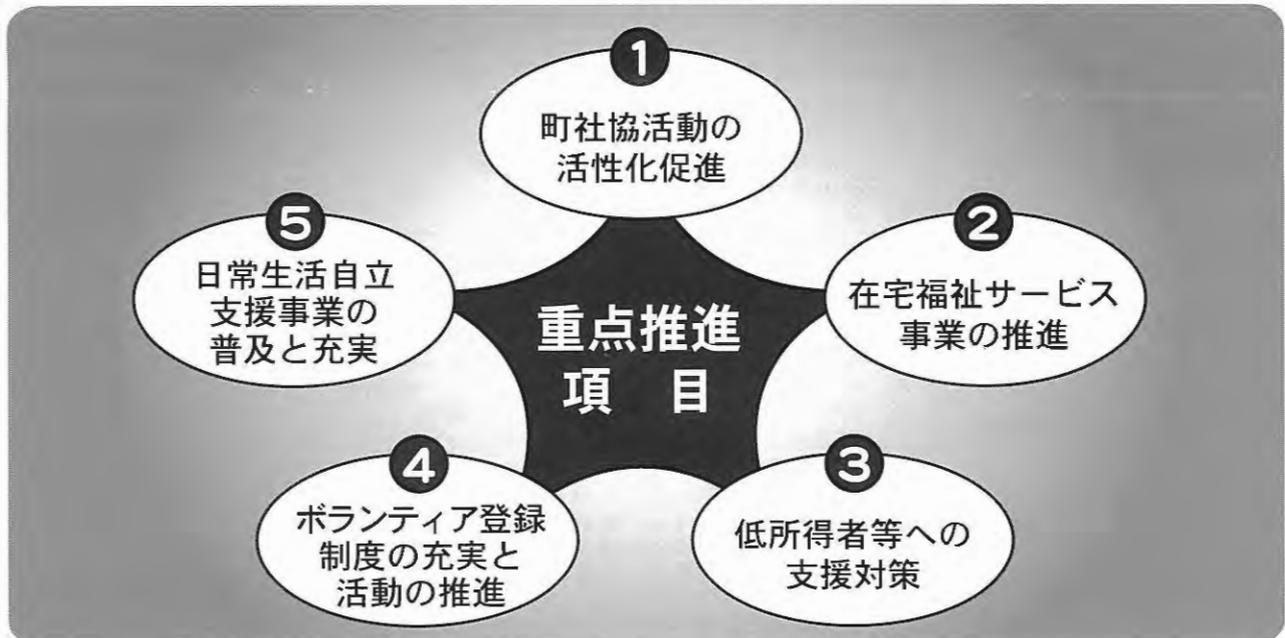
政府は来年4月に予定していた消費税税率10%への引き上げを、2019年10月迄2年半延期する事を正式に発表しました。国は、軽減税率などの導入を考えていますが、我々消費者には、軽減税率などは深く理解できない部分が多くはっきりしたものが見えてこないのが実情です。今も、消費税の負担は家計に重くのしかかっています。国家の財政危機を我々国民が、耐え忍んで乗り切ろうとしています。税金の使い道を透明にして、国民が理解できるような運用を望んでいます。

そのような厳しい生活状況の中で、町民の皆様が社会福祉協議会の会員として会費を納めていただくことに、社会福祉協議会の役職員一同深く感謝申し上げます。町民の皆様から頂いた会費を充当しまして、本年度も高齢者在宅福祉サービスを実施していきます。「無料布団丸洗いサービス」及び「無料除雪サービス」の利用者の掘り起こしに重点をおきそのためには、町民の皆様や町内会役員の皆様のご協力が不可欠となります。平素より皆様方には「共同募金」及び「日本赤十字社資」等にご協力を頂いておりますが、さらに社会福祉協議会へのご支援をお願い致します。

社会福祉協議会も、今後は、さらに「見える」社協づくりに専念し、身体障がい者、高齢者の在宅福祉や生活困窮者の相談等に各地区の民生委員さんとの活発な意見交換等を充実させていきます。また、小平町幼児センターの運営では、昨年度より小平町の子育て支援対策の一つとして保育料の無料化が実施され子育て世帯には大きな軽減となっているものと思われま

す。また、子育て世代に対しても、小平町で子育てをしていて「生活しやすい町」と思われるように、今以上に町の保健師さん、民生委員さん・主任児童委員さんとの関係を密にし、窓口を大きく開き、町民の要望を聞き入れていきます。町民の皆様が、気楽に社会福祉協議会の窓口を訪れ、様々な意見や要望を、お聞かせ頂き行政や関係各所に連絡をする連絡網の確立、高齢者世帯の孤立防止の連絡網の確立、障がい弱者、生活困窮者等への相談窓口の拡充など今までにまして「見える」社会福祉協議会を目指します。

それにより従来から小平町社会福祉協議会が掲げている「持ち寄り、わかちあい、つくりあげる、小平の福祉」をモットーに次の重点項目を推進してまいります。



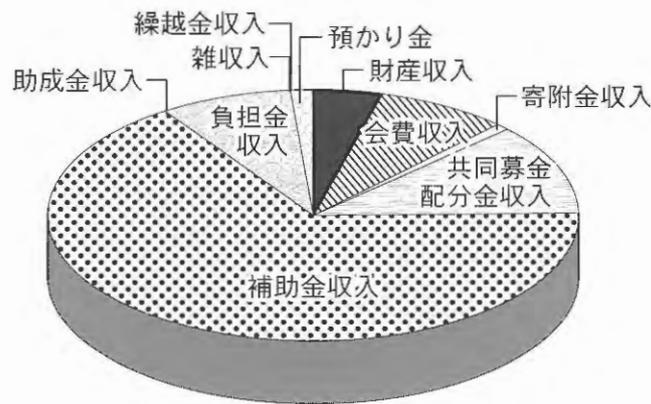
# 平成28年度 主な事業推進項目

事業区分	事業内容
1 福祉対策事業の推進	1) 理事会・評議員会の開催、役職員の研修 各福祉大会等の積極参加 2) 社協会員制度の普及と加入促進 寄附金等による福祉基金の強化 3) 関係機関、福祉団体等との連携及び育成活動支援 4) 社協だよりの発行（年3回） 5) 日赤社資運動の推進（6月1日～） 6) 共同募金運動の推進（10月1日～） 7) 歳末たすけあい募金運動の推進及び助成 8) 「おせち料理」配食事業の推進 9) その他福祉対策事業の推進
2 老人福祉の支援	1) 小平町老人クラブ連合会 運営活動の支援 2) 高齢者地域ケア事業の推進（在宅福祉サービス） （布団丸洗い及び除雪サービス） 3) 地域環境美化活動事業の推進及び支援 （花壇整備、海浜クリーン作戦） 4) 高齢者健康推進事業の支援 （イキイキスポーツ大会／芸能発表） 5) 「おせち料理」の配食実施 6) 高齢者事業団の支援協力 7) 留萌地区高齢者ゲートボール交歓大会（遠別町）の支援 8) 留萌地区老人クラブ大会（増毛町）の支援 9) 全道老人クラブ大会（名寄市）の参加支援 10) 老人クラブ指導者研修事業（未定）の協力支援 11) 留萌南部ブロック別老連研修（留萌市）協力支援
3 母子・児童福祉の支援	1) 小平幼児センターの運営
4 心身障がい者福祉の推進	1) 小平町身体障害者福祉協会 運営活動の支援 2) 身体障害者福祉協会視察研修事業の支援 3) 第10回るもい管内ふれあい大会（羽幌町）の支援 4) ふれあい広場「2016おびら」（おにしか更生園）事業の支援
5 地域福祉活動の推進	1) 小平町民生委員協議会 運営活動の支援 2) 民生委員協議会研修視察事業の支援 3) 全道・留萌地区民生委員協議会研究協議会の支援 4) 小平町遺族会 運営活動の支援 5) 町慰霊祭等地域行事の支援・協力 6) ボランティア登録制度普及と育成・活動支援 7) 留萌管内ボランティア活動研究協議会inるもいの支援・協力 8) ボランティア愛ランド北海道in室蘭への参加 9) 在宅介護者を支える会への支援・協力
6 福祉振興事業の推進	1) 道社協生活福祉資金貸付制度の普及 2) 町社協福祉資金貸付事業の普及 3) 生活福祉資金貸付審査委員会の開催 4) 要援護者福祉対策の推進 5) 道社協日常生活自立支援事業の普及
7 社協及び各福祉団体の町外行事等	1) 留萌地区各福祉団体総会 （社協・民協・老連・身障・遺族・共募・ボランティア 4月～5月） 2) 護国神社慰霊大祭参列（旭川市） 3) 留萌地区高齢者ゲートボール交歓大会（遠別町） 4) 留萌地区町村民生委員児童委員研修会（小平町） 5) 留萌地区民生委員児童委員専門研修会（留萌市） 6) 第10回るもい管内ふれあい大会（羽幌町） 7) 留萌地区老人クラブ大会（増毛町） 8) 北海道戦没者追悼式（札幌市） 9) 北海道社会福祉大会（札幌市） 10) 留萌管内ボランティア活動研究協議会inるもい 11) ボランティア愛ランド北海道in室蘭 12) 全道老人クラブ大会（名寄市） 13) 留萌地区赤十字奉仕団研修会 14) 全道身体障害者福祉大会（札幌市）

平成28年度 社協一般会計予算書

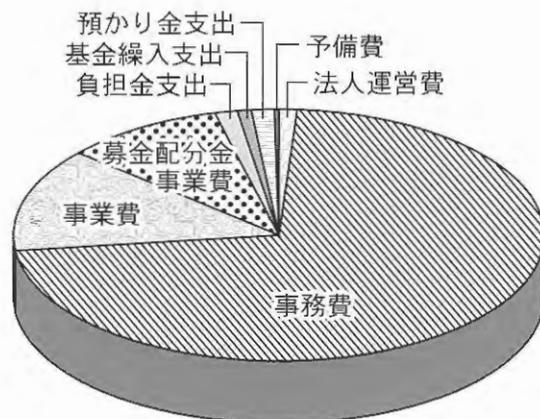
(単位/千円)

収入の部	予算科目	予算金額	予算科目	予算金額
	財産収入	559	助成金収入	20
	会費収入	1,100	負担金収入	1,085
	寄附金収入	100	雑収入	1
	共同募金配分金収入	1,598	繰越金収入	1
	補助金収入	8,889	預り金	175
	計			13,528



(単位/千円)

支出の部	予算科目	予算金額	予算科目	予算金額
	法人運営費	169	負担金支出	199
	事務費	9,731	基金繰入支出	100
	事業費	1,531	預り金支出	175
	募金配分金事業費	1,598	予備費	25
		計		

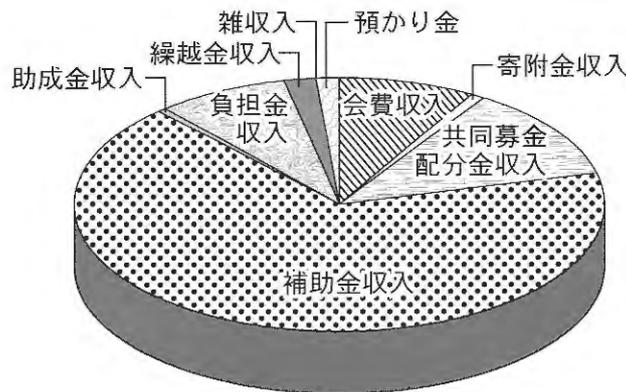


平成27年度  
社協事業実績報告

社協一般会計決算書

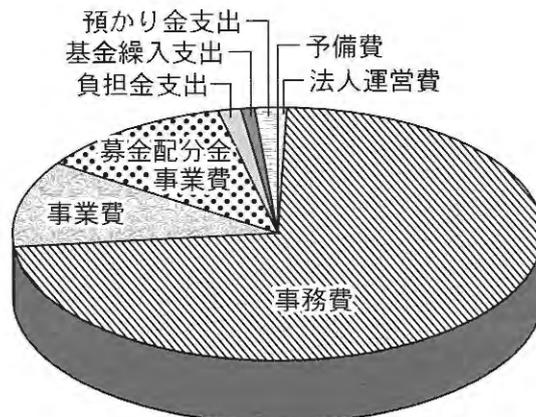
(単位/千円)

収入の部	決算科目	決算金額	決算科目	決算金額
	財産収入	0	助成金収入	63
	会費収入	1,093	負担金収入	1,067
	寄附金収入	112	雑収入	6
	共同募金配分金収入	1,558	繰越金収入	252
	補助金収入	8,839	預り金	169
	計			13,159



(単位/千円)

支出の部	決算科目	決算金額	決算科目	決算金額
	法人運営費	81	負担金支出	187
	事務費	9,470	基金繰入支出	112
	事業費	1,419	預り金支出	172
	募金配分金事業費	1,557	予備費	5
		計		



1 会費の納入と充当事業について

- ・納入実績 1,093,900円
- ・当社協は、独自の福祉対策事業として、ふとん丸洗い・除雪サービス、老人福祉活動及び在宅援護支援を実施しております。

☆各地区納入実績

(平成27年1月6日完了)

地区名	加入世帯	金額(円)	地区名	加入世帯	金額(円)		
白谷地区	89	89,000	寧楽地区	45	45,000		
小平地区	517	517,000	達布地区	50	50,000		
本郷地区	97	97,000	鬼鹿地区	301	295,900		
					平成24年度納入額	1,093,900	
町内会	35	加入可能世帯数	1,581	加入数	1,099	加入率	69.5%

2 高齢者地域ケア対策推進事業

(ふとん丸洗いサービス) 74戸

- ・独居老人等を対象に9月から10月に実施
- ・事業費 288,100円 (社協会費 充当)
- (除雪サービス) 229件
- ・独居老人等を対象に窓の雪投げを12月～3月実施
- ・小平・鬼鹿の業者に委託
- ・事業費 902,000円 (社協会費 充当)



除雪サービス

3 在宅援護対策事業

- ・在宅介護者を支える会に 70,000円助成

4 社会福祉資金貸付事業

- ・低所得者世帯等による災害、疫病、葬祭など緊急時の出費を要する方に貸付
- ・社協自主財源 200,000円 (貸付限度額 50,000円以内)
- ・実績 貸付金 90,000円 (2件)



在宅介護者を支える会総会

### 5 日本赤十字社社資

- ・募金総額 634,000円  
（一般社員 572,000円、法人社資 62,000円  
目標金額 379,000円、達成率 167.2%）

### 6 赤い羽根共同募金

- ・募金総額 1,014,109円  
（目標額 1,000,000円 達成率 101.4%）

### 7 歳末たすけあい運動

- ・助成総額 855,000円
- ・助成対象（世帯数 14戸、人数 21人）
- ・割合（世帯割 23,000円、人数割 10,000円）
- ・おせち料理配食事業  
（94世帯、117名、351,000円）

### 8 老人クラブ連合会運営事業

- ・総会、役員会
- ・留萌地区高齢者ゲートボール交歓競技大会
- ・イキイキスポーツ大会及びふれあい交流会
- ・全道及び留萌地区老人クラブ大会
- ・海浜クリーン作戦事業  
事業内容 白谷・小平・大楯・鬼鹿地区老人クラブ員が前浜等の清掃（5月～10月）
- ・その他各種研修参加
- ・事業費 1,310,924円  
（高齢者健康推進事業補助金 200,000円  
負担金 73,280円、町補助金 400,000円、  
社協補助金（共同募金）125,000円、  
その他 512,644円）

### 9 民生委員協議会運営事業（心配ごと相談所）

- ・総会、留萌地区総会、各福祉相談、募金配分、  
各種研修参加
- ・事業費 1,330,273円  
（町補助金 1,070,000円、  
社協補助金（共同募金）80,000円、  
道社協 24,000円、その他 156,273円）



歳末助成委員会



老人クラブ連合会によるイキイキスポーツ大会



駐在所・民生委員による高齢者宅防犯訪問

## 10 身体障害者福祉協会運営事業

- ・総会、役員会、ふれあい大会、各研修会
- ・事業費 455,680円  
(社協補助金(共同募金) 130,000円、  
会費 72,000円、その他 253,680円)

## 11 遺族会運営事業

- ・総会、護国神社慰霊大祭参拝、留萌地区連合会  
理事会及び総会、役職員研修会
- ・事業費 281,548円  
(社協補助金 30,000円、会費 67,000円、  
その他 184,548円)

留萌地区身体障がい者福祉協会  
るもい管内ふれあい大会

## 12 ボランティアセンター事業

- ・町ボランティア登録制度の推進啓発  
(94名登録 内訳 個人16名、2団体78名)

## 13 留萌地区各種大会

- ・留萌地区高齢者ゲートボール交歓競技大会  
(6月19日・苫前町)
- ・管内民生児童委員専門研修会  
(10月6日・増毛町)
- ・第13回留萌地区老人クラグ大会(老人クラブ  
芸能発表会・7月31日・小平町)
- ・留萌地区身体障がい者福祉協会「ふれあい大会」  
(10月15日・羽幌町)
- ・老人クラブリーダー研修会(9月30日・羽幌町)
- ・留萌地区連合遺族会役職員研修会(11月27日・羽幌町)



遺族会北海道護国神社慰霊大祭参列

## 14 小平幼児センター運営事業

- ・保護者が働いているなど家庭において、日常的に、又は通院などの理由から一時的に保育を受けることができない幼児の福祉向上、並育で支援のための乳幼児交流を図ることを目的とする。

## 利用対象児

- ・満1歳から幼稚園入園前までの幼児とする。
- ・事業費 5,125,205円  
(補助金 5,030,000円、その他 95,205円)



幼児センターくるんば

小平町社会福祉協議会のスローガン

『もちより、わがちあい、つくりあげる、小平の福祉』

◇住みなれたこの町で、24時間、365日安心できる生活をめざして◇

伝 言 板

小平町共同募金委員会よりお知らせ

小平町共同募金委員会では今年度初めて小平町ご当地キャラクターおびまる君を題材とした募金バッチを製作いたしました。

募金バッチとは、募金費500円のうち204円が製作費で296円が募金となり、バッチの募金総数が「赤い羽根共同募金」の実績となりますので町民皆様のご協力宜しくお願いします。

なお、バッチは小平町共同募金委員会（役場内）で取り扱っておりますのでお気軽に声をおかけください。

- 問い合わせ先 小平町共同募金委員会 (☎59-1643)



おびまる募金バッチ

当社協に  
ご連絡  
ください

車イスの貸し出しを行っています。

赤い羽根共同募金の助成を受け購入しました「行事用テント」を町内会行事、お花見、野外パーティー、会社内のレクリエーション等にご活用ください。いずれも無料となっています。

編 集 後 記

すっかり夏色の景色となり肌を通りぬける風も心地よい季節となり、身の回りの草花も嬉しそうに漂っています。今年の夏は室内や野外で笑いの絶えない季節にしたいものです。

笑い声の響く小平町にしましょう。



発行:社会福祉法人/小平町社会福祉協議会  
〒078-3301 留萌郡小平町字小平町216番地  
小平町役場内  
☎(0164)59-1643 FAX(0164)59-1643

\*このコーナーをご利用ください。サークルの紹介・勧誘・譲ります・譲ってください。など、なんでも結構です。社協までTELを！

